

野村 羊子

のむら
ようこ



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.81

■臨時議会 5/13~14

今期、野村は、**厚生委員会、都市計画審議会**に加え、**ふじみ衛生組合議会議員**となった。

◆議長等選挙

改選後の議長等を決める人事の議会。議長は最大会派、副議長と監査を第2、第3会派から選出する通例。事前に根回しが終わっていれば「指名推薦」となる。しかしこれは特例。なので投票を主張。今回は立候補制を主張し、所信表明をも求めたが、今回は会期が2日間と1日少ないため、そこまではあえて主張しないこととする。

議長選挙は、**後藤議員**24票、**嶋崎議員**3票、白票1という結果。副議長選挙は、**岩見議員**19票、**栗原議員**4票、**嶋崎議員**3票、白票1票（議長は投票せず）。議会選出監査の予備選挙では、**赤松議員**19票、**栗原議員**4票、**嶋崎議員**3票、白票1票だった。



◆常任委員長と一部事務組合議員の選出

議長等の選挙を終え、本会議は休会。しかし、その後が長かった。会派人数によるドント式で割り振りのはずだが、最大会派自民クラブの内
部調整がなかなか終わらず。結局、人数の会派割当が決まり、氏名の当
てはめが終了したのは26時だった。



◆審議会委員等の推薦候補者等の決定

会派にじ色のつばさでは、法で定められた審議会・行政委員以外はあえて要望を出さず決定。ここはほぼスムーズに決定。18時には解散となった。特別委員会は6月議会に決定予定。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.81
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net
Url : http://www.nomura-yoko.net
Twitter : @hitujinomura

6月議会日程予定

- 8日(月) 本会議(一般質問) 請願締切
- 9日(火) 本会議(一般質問)
- 10日(水) 本会議(議案上程、施政方針)
- 11日(木) 議会運営委員会
- 12日(金) 本会議(議案審議、補正予算代表質疑)
- 15日(月)~18日(木) 常任委員会
- 19日(金)~23日(火) 補正予算特別委員会
- 24日(水)~25日(木) 特別委員会
- 26日(金) 議会運営委員会
- 30日(火) 本会議(委員会報告、議案等審議)



■ふじみ衛生組合議会 5/29

定例だが、三鷹市選出議員が交代したため副議長選挙実施。調布市議の任期は5月末のため、7月にも臨時議会を予定。

■地方X国政策研究会 5/22

○「**議会は民主主義に不可欠の機関**」富野暉一郎さん(元逗子市長)の話は、歴史的に見た議員の役割と日本の地方制度から見た議員がめざすべき方向性について。刺激的内容で面白かった。

○ 富野暉一郎(元逗子市長)・福島浩彦(元我孫子市長)・上原公子(元国立市長)の元市長3人による鼎談。議会と首長の関係を語り、議会は議論して市長提案議案を修正していくべきなど、非常に面白い内容だった。

○「2015年介護保険改正と新しい総合事業の課題」鑑諭さん。

「何かの事情のある方への公的な対応」の福祉に対して、保険制度は「リスクを広く分かち合い、給付は誰でも受けられる」ことが基本。しかし、資産条件など保険制度になじまない概念を持ち込み、「持続可能な財政という財政面での都合が優先されている」とした。一方で「保険料が低いということはサービスが少ない」とも指摘。



○「地域医療・介護総合確保推進法」厚生労働省。「公立病院改革新ガイドライン」総務省が解説。

2014年1～12月収支報告書

I	収入総額	
1	前年繰越金	1,813,329
2	本年の収入額	2,218,552
	(会費)	20,000
	(寄付)	1,702,785
	(サマーツアー・映画上映会)	495,621
	(その他)	146
	1～2の計	4,031,881
II	支出総額	
1	経常経費	1,022,614
	(事務経費)	1,010,904
	(備品消耗品)	11,710
2	政治活動費	1,288,723
	(組織活動費)	13,740
	(宣伝事業費)	767,562
	(ツアー・上映会等事業費)	495,621
	(調査研究費)	11,800
	1～2の計	2,311,337
III	翌年への繰越金額	
	I-II	1,720,544

選挙運動費用収支報告書	
収入の部	
寄附	29,000
その他の収入	981,308
計	1,010,308
支出の部	
立候補準備のための支出	910,922
選挙運動のための支出	99,386
総計	1,010,308

■福島原発震災情報連絡センター総会・被災地スタディツアー 5/30～31

- 「福島原発事故の現状－汚染水・被曝労働・廃炉への課題、「ひだんれん」設立の動き」佐藤和良（福島県いわき市議）
- 「食品測定、WBC、甲状腺検査の現状とβ線測定がめざすもの」鈴木薫（いわき放射能市民測定室たらちね事務局長）
- 「誰も書けなかった『福島原発事故の健康被害』を語る」明石昇二郎（ルポルタージュ研究所所長）いずれも深刻な現状をきっちりと語る。

野村羊子の議員報酬
収支報告

2014年5月～
2015年4月

収入		
報酬	9,372,000	
審議会等報酬	50,000	都市計画審議会
旅費・日当	1,500	太宰治授賞式
合計	9,423,500	
支出		
税	3,103,793	所得税他
保険料等	989,410	年金、保険料等
議員互助会	-4,300	精算返金を差引
積立（報酬二重取り） 寄付済	162,930	審議会報酬+期末手当 増額分を別途積立。
活動費	372,664	研修、会費、交流会、 宿泊費等
事務費	205,764	通信費他
図書資料費	17,791	
交通費	174,520	佐渡、山梨・長野、金 沢、松代等
いっしょの会会費	1,900,000	選挙費用含
ブラッシュアップ費	112,928	医療費他
生活費	2,388,000	家賃他
合計	9,423,500	



○被災地ツアーはいわき市～榎葉町～富岡町夜の森。バス内で元東電社員で榎葉

町議の阿島さんのお話を伺う。

富岡駅前では建物内のがれきは撤去されていた。夜の森では1.11 μSvを測定。昨年より若干下がったが、それでも高い。富岡町はそこに帰還させようというのはやはり棄民政策だと思う。

○市民測定所たらちね訪問。β線核種ストロンチウムとトリウムの測定を開始。総額3800万のラボ設置。検査費用を格安に抑えたため海外から問い合わせがあるという。

ホールボディカウンターは、孫受けの原発作業員の福利厚生に使われているという。

